

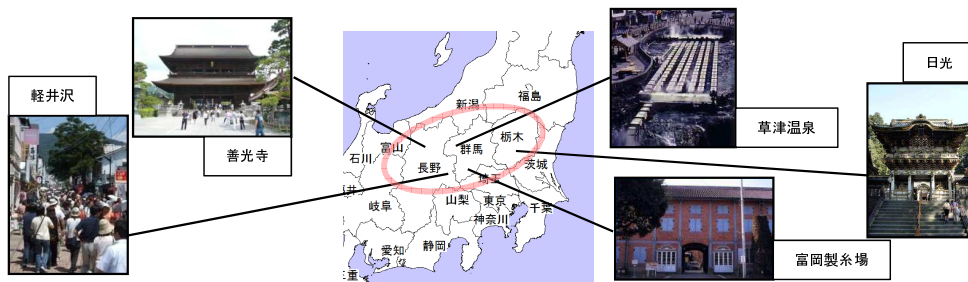
1. 長野県の現状と課題

【現状】

佐久、上小、長野、北信地域は善光寺や軽井沢など県内でも有数の観光地が位置しており、県内外合わせて年間5千万人を超える観光客が訪れる地域である。現在は中部横断自動車道の整備も進められており、更なる地域の発展が期待されている。

【課題】

中部横断道の整備に合わせ、観光拠点を結ぶアクセス道路の整備や、季節毎、地域毎に開催される観光イベントの連携を強めることが必要となっている。



2. 計画の目標

巨大な観光需要を抱える首都圏の周縁部に位置する特性を最大限に活かし、関越道、上信越道、北関東道から観光地へのアクセスを強化するとともに、民間と連携した観光PRや自然環境保護活動に広域で取り組むことにより、世界遺産等の歴史的文化遺産や豊かな自然環境が有機的に連携した広域的な観光活性化を図る。

3. 事業の内容

【計画の期間】 平成25年度～平成29年度（5年間）

【事業実施主体】 長野県（栃木県、群馬県と連携）

【計画の成果目標】

計画の成果目標	H25（現況値）	H27（目標値）	H29（目標値）
計画地区内の観光客数の増加	4,481万人	(2.8%増) 4,606万人	(5.6%増) 4,730万人
長野県内（北信濃・東信州地域）の地域間を連絡する道路の総時間短縮割合	0.0%	8.2%	10.9%

※（地域間を連絡する道路の総時間短縮割合）＝Σ（要素事業による時間短縮）÷Σ（要素事業整備前の旅行時間）

【事業の主な内容】

基幹事業： 道路改築事業 2 1 箇所
 関連事業： -
 効果促進事業： -

【箇所数と事業費】

	県	市町村	計
基幹事業	21箇所 35.1億円	-	21箇所 35.1億円 (55.3億円)
関連社会資本整備事業	-	-	-
効果促進事業	-	-	-
計	21箇所 35.1億円	-	21箇所 35.1億円 (55.3億円) 63.5%

※事業費は精算額としているため、整備計画の事業費とは合わない場合があります。

※()内は整備計画の事業費です。

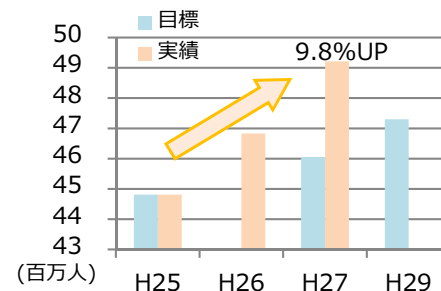
4. 中間評価の結果

【目標値の達成状況】

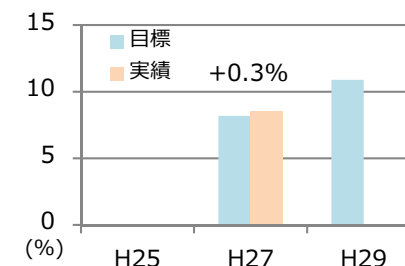
計画の成果目標	H27（目標値）	H27（実績値）
計画地区内の観光客数の増加	(2.8%増) 4,606万人	(9.8%増) 4,922万人
長野県内（北信濃・東信州地域）の地域間を連絡する道路の総時間短縮割合	8.2%	8.5%

※（地域間を連絡する道路の総時間短縮割合）＝Σ（要素事業による時間短縮）÷Σ（要素事業整備前の旅行時間）

計画地区内の観光客数の増加



長野県内の地域間を連絡する道路の総時間短縮割合



■ 事業効果の発現状況

・各観光施設においてスポーツ、宿泊施設を利用したイベントの開催等により観光振興を図っており、広域連携事業の道路改築による支援を行った結果、交流圏域及び県内計画域内において観光客数に増加傾向が見られ、完了時の目標達成の可能性は高い。

5. 評価と今後の方針

地域の自発的な観光誘致活動と、それを支援する本計画による支援の効果がみられており、今後も地域の自発的な観光活性化に向けた取り組みを支援するため、平成30年度以降の継続計画を策定し、地域の更なる発展を促す。

整備効果事例

事例① (国) 406号 須坂市 須坂

■ 位置図



■ 整備効果

整備前



交通量が多く、恒常的に渋滞が発生し、交通のネック箇所に

整備後



4車線化により、交通の流れがスムーズになりました

事例② (一) 塩名田佐久線 佐久市 中佐都

■ 位置図



■ 整備効果

整備前



道幅が狭いため安全な通行に支障がありました

整備後



中佐都ICへのアクセス道路が整備され、地域の活性化につながっています